



未来の
ために、
いま選ぼう。



2016年6月20日
イオン株式会社

6月は環境月間。イオンはお客さまとともに、豊かな環境を未来へつなぎます

**6/21(火)・7/7(木)、イオングループ約1,600施設が
「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加**

7/2(土)イオンモール幕張新都心にて、CO₂を排出せずに発光する短冊を飾り夜空を楽しみます

イオンは6月21日(火/夏至の日)と7月7日(木/クールアース・デー※1)に、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加します。全国のグループ店舗や事業所など約1,600施設で20時~22時に屋外照明の一部を消灯し、地球温暖化防止に努めます。

環境省では2003年より、地球温暖化防止対策として、施設や家庭の照明の消灯を呼び掛ける、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を展開しています。イオンは1年目から参加しており、14年目となる本年は、全国のイオングループ店舗や事業所、物流センターなど約1,600施設で両日20時~22時に屋外照明の一部を消灯し、地球温暖化防止に寄与します。

この取り組みにより削減できる電力は、グループ全体で約74,400kWhとなり、これは一般的な家庭約5,400世帯が一日で使用する電力量※2に相当します。

また、七夕が近づく7月2日(土)にはイオンモール幕張新都心にて、お客さまに改めてCO₂削減について考えていただく機会として、光る短冊に願いごとを書く七夕イベントを開催します。この短冊は水分に触れると発電するマグネシウム電池により発光します。マグネシウム電池は、発電時にCO₂を排出しないなどの点から環境負荷が低いと言われ、将来の新エネルギーとして多方面で期待されています。

イオンは、今後も豊かな自然環境を未来につなぐため、お客さまとともにさまざまな環境保全活動を行ってまいります。

※1)クールアース・デー:天の川を見ながら、地球環境の大切さを日本国民全体で再確認し、年に一度、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場における取り組みを推進するための日。2008年のG8サミット(洞爺湖サミット)が日本で7月7日の七夕の日に開催されたことを契機に、毎年7月7日がクールアース・デーと定められました。

※2)世帯数は、1世帯1日あたりの電気使用量を総務省統計局「家計調査」平成27年12月分速報より13.76kWhで換算。

「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」への参加について



日時 6月21日(火/夏至の日)、
7月7日(木/クールアース・デー)
両日とも20時～22時

店舗 全国の「イオン」「イオンモール」「マックスバリュ」などの店舗や、物流センターなど、約1,600施設

内容 屋上看板や店舗看板などの屋外照明を消灯
(防犯上の理由などにより消灯不可の店舗を除く)

イオンモール幕張新都心での七夕イベントについて(予定)

日時 7月2日(土)
13:00～18:00 光る短冊を手作りするワークショップを開催(30分毎)
短冊に願いごとを記入
19:00 短冊点灯式
場所 イオンモール幕張新都心 FAMILY MALL 3階 スカイパーク(屋外)

内容 光る短冊を手作りするワークショップを開催。短冊に願いごとを書いて笹竹につるし、当日19時から点灯式を行います。光る短冊は7月7日まで展示し、終了後は分別しリサイクルします。
*ワークショップの参加者数や短冊の数量には限りがあります。



(光る短冊の発光イメージ)

光る短冊について: 短冊に内蔵されているマグネシウム電池が雨などの水分に触れると発電し、内部のLED電球が一週間ほど光ります。宮城県栗原市の企業が製作しました。マグネシウム電池は素手で触れても安全であり、有害物質を含まないため廃棄に手間がかからず、環境負荷が低いと言われています。また長期間保存できる特徴を持ち、災害などの非常用電源としての活用も期待されています。



未来のために、いま選ぼう。

イオンは、低炭素社会の実現に向けて政府が主導し、エコにつながる製品やサービス、行動など「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」に賛同しています。